

使いやすいカットタイプ仕様 ピタバン® DIY用 施工のポイント

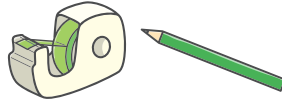
● 用意するもの



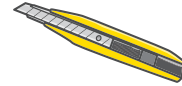
パネル用 変性シリコン接着剤
(※市販のものをご使用下さい)



パネル用両面テープ
幅 20mm 厚み 1~1.2mm
(※市販のものをご使用下さい)



マスキングテープ (または鉛筆)



カッター



ピタバン

⚠ 保管の際は下記ご注意ください

- 保管は直接日光や雨の当たる場所を避け、平らな面に平積みしてください。

※長時間放置すると変形や反りが発生することがあります。購入後はすみやかに施工してください。
※立てかけて保管や放置すると変形や反りが発生することがありますので、絶対行わないでください。



⚠ 加工や切断の際は下記ご注意ください

- 電動丸鋸で切断が可能です。
※商品はスチールを使用していますので鋸刃は、金属用チップソー (サーメットチップソー推奨) をご使用ください。
※切断中、粉塵が発生しますので、作業は防塵マスク、防護メガネを着用し、安全対策をした上で行ってください。
- 化粧面を必ず養生してから切断をしてください。
- 切断後はサンドペーパー中目 (#120 ~ #240) またはヤスリをかけ、切断面は防錆処理を行ってください。
(耐食性の高い銅板を使用しておりますが切断面は防錆処理を行ってください。)

さび止めの例



施工

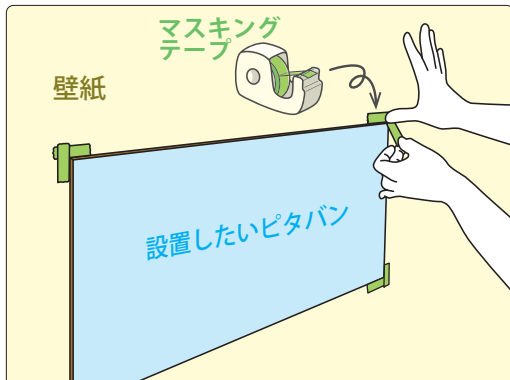
● 施工準備・施工場所(下地)の確認

- 施工の際は、複数名での施工をおすすめします。
- 下地は十分に乾燥させた状態で施工を行ってください。
- 下地は入念な下地処理を行い、不陸が無いよう平滑にしてください。
- クロス仕上げ、塗装仕上げ、化粧シート、コンクリート、ALC への直貼りはできません。

推奨下地

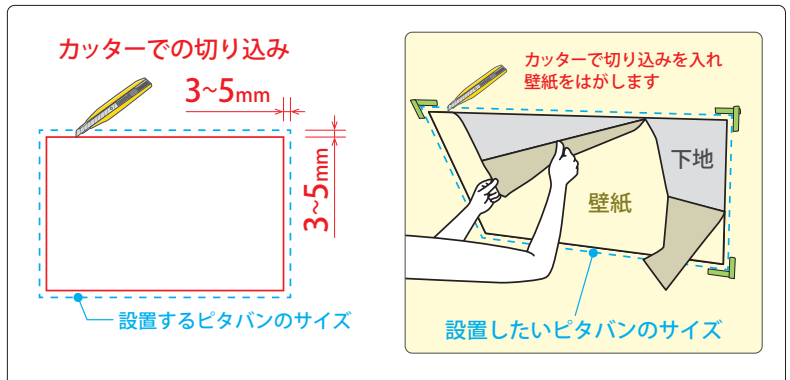
- セッコウボード
- ラワン合板 (9mm以上)
- ケイカル板 (6mm以上)

① 設置場所の位置決め



設置したい場所にピタバンを当てて、マスキングテープや鉛筆でマーキングをします (マスキングテープは跡が残らないように) (鉛筆は薄く書きましょう)

② 設置場所の壁紙をはがす

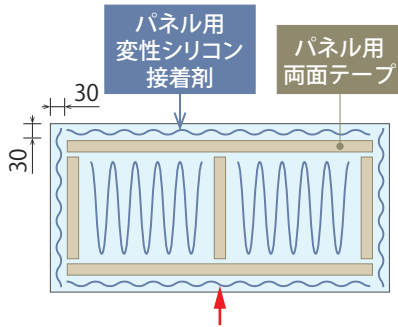


①でマーキングした位置から、約3~5mm程度内側にカッターで切り込みを入れ、壁紙をはがします (下地に傷がつかないように軽く刃を入れてください)

(※壁紙をはがす必要の無い場所へ設置する場合は、本工程は不要です)

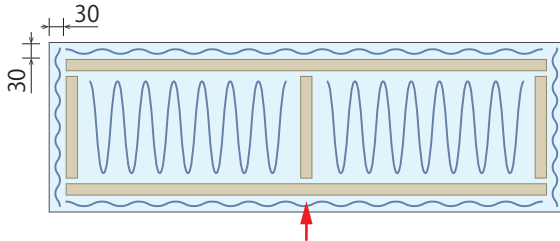
③ 両面テープの貼り付けと接着剤の塗布

ピタバンサイズ 600×298 の場合



必ず、両面テープ外周にも接着剤を塗布してください。ただし、あまり外周端部に接着剤を塗布すると壁面にはみ出る場合があります。

ピタバンサイズ 910×300 の場合

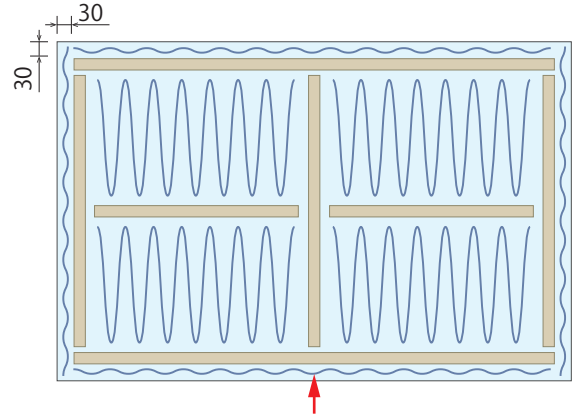


必ず、両面テープ外周にも接着剤を塗布してください。ただし、あまり外周端部に接着剤を塗布すると壁面にはみ出る場合があります。

- 接着剤のノズルを直径7mmとなるようにカットしてください。
- 両面テープ使用量は約 5.5m / m²を目安としてください。
※パネル用両面テープ 1.1mm厚 × 20mm幅推奨

ピタバンの裏面に、図のように両面テープと接着剤を塗布します

ピタバンサイズ 910×600 の場合



必ず、両面テープ外周にも接着剤を塗布してください。ただし、あまり外周端部に接着剤を塗布すると壁面にはみ出る場合があります。



④ 壁面に貼り付け

必ず、両面テープ外周にも接着剤を塗布してください。ただし、あまり外周端部に接着剤を塗布すると壁面にはみ出る場合があります。

- 接着剤を塗布後 10分以内にピタバンを所定の位置に貼りあわせてください。
- ずらし等のはり調整が出来ませんので、注意して施工してください。

ピタバンの中央に浮きが出ないように板全体を十分に圧着させます。
(※圧着の際は表面に傷が付かないようにご注意ください)

④ 約24時間養生

24h

接着剤の硬化まで約24時間、養生します。

(※ご使用の接着剤により、硬化までの時間は異なります。詳しくは各接着剤の仕様をご覧ください)

お手入れ

- 表面の柔らかいスポンジ・布で乾拭き又は希釈した中性洗剤を使用し、良く吹き上げて乾燥させてください。
※傷の原因になりますので、たわし類、漂白剤、アルカリ洗剤、酸性洗剤は使用しないでください。